

白馬岳を中心とした高山 植物保護（登山者に対するアンケート調査）

松本・白馬森林事務所 ○ 北村 大
小谷森林事務所 菊池 正和

はじめに

北アルプス北部に位置する白馬岳（標高2,932 m）一帯は日本でも有数の高山植物の宝庫として知られており、年間約 8万人の登山者の入込みがある。

そんな中、高山植物を踏んだり、ゴミを捨てたりする違反者が跡を絶たない時、当署では、関係団体の協力を得て 7月下旬～ 8月下旬の 1か月間、グリーンパトロール隊を結隊し高山植物の保護、美化活動に努めている。

そこで平成 4年度の夏山シーズンにおいて、登山者にアンケート調査を行い、今後の高山植物保護、美化活動のあり方を探ることにした。

1. 調査方法

調査は、白馬岳周辺の山小屋 5か所での留意方式、グリーンパトロール隊による配布方式をとり、平成 4年7月～8月の 2か月間一般登山者に対し行った。

総数1,800 枚の内72%の1,296 枚が回収できた。

2. アンケートの項目

（1）白馬岳への登山者の特徴

（2）高山植物の保護状況について

（3）高山植物の知識

3. 調査結果

（1）白馬岳への登山者の特徴

ア、白馬岳を訪れた登山者の性別割合は、男741人（58%）女545人（42%）であり、年齢別割合は（図-1）である。

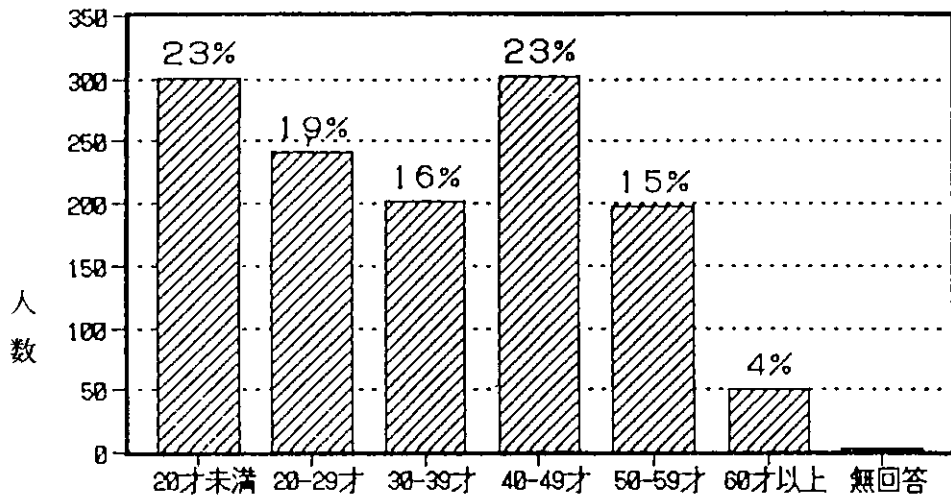


図-1 年齢別登山者の割合

イ、「あなたの登山歴はどの位か」聞いたところ「1年未満」20%、「5～7年未満」34%と2者で半数以上を占めており、初心者を含め登山経験の少ない人が多いことがわかる。(図-2)

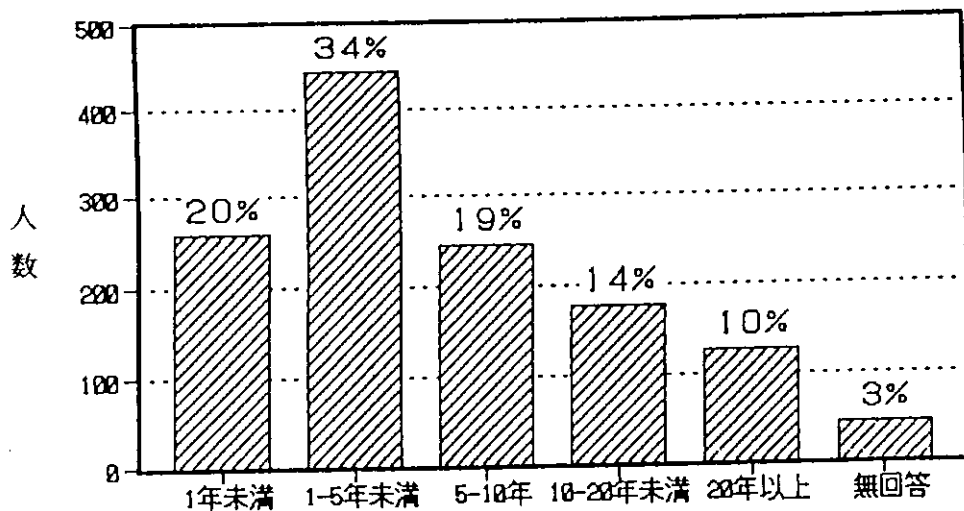


図-2 登山歴割合

登山歴

ウ、「あなたの登山目的は何か」聞いたところ、「自然に親しむため」49%、「高山植物の観察、写真撮影のため」24%と高くなっている。(図-3)

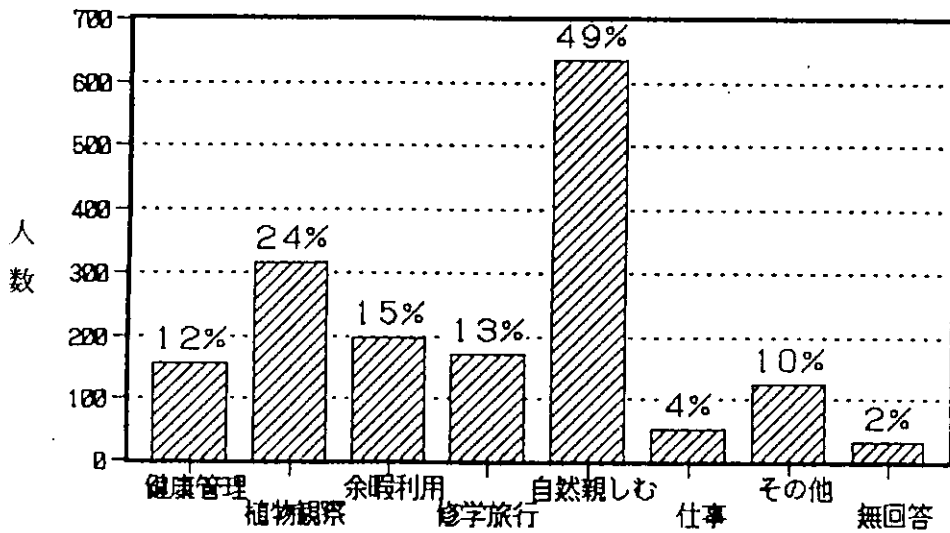


図-3 登山目的 (複数回答)

エ、「他の山岳地帯に比べ、今回の白馬岳登山で良かった点、悪かった点を聞いたところ、(図-4)

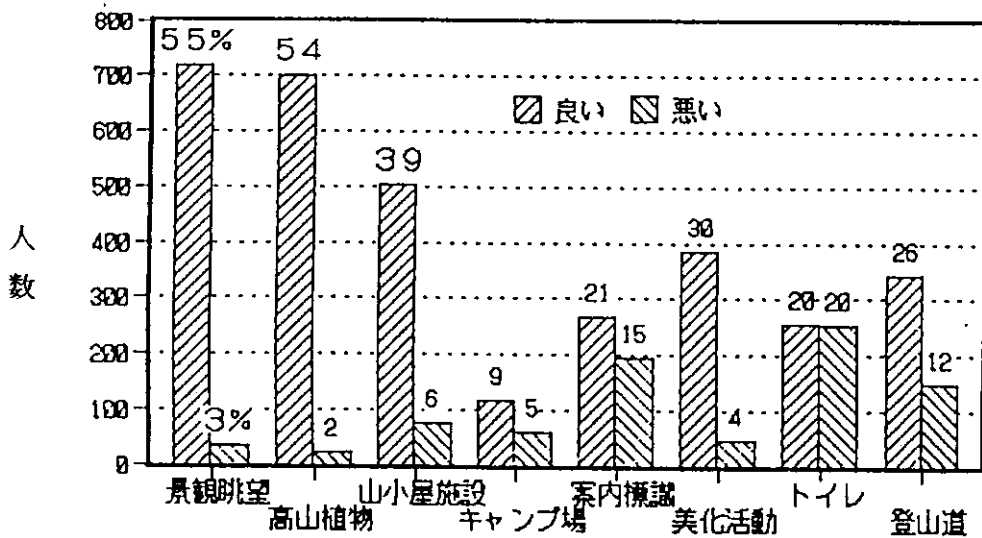


図-4 他の山岳地に比べ良い点、悪い点

良いと思われた点

- ア) 「景観、眺望が良い」 55%
 - イ) 「高山植物が良い」 54%
 - ウ) 「山小屋等の施設が良い」 39%
- と高く

悪いと思われた点

- ア) 「トイレが悪い」 20%
- イ) 「案内板, 標識が悪い」 15%
- ウ) 「登山道が悪い」 12% と高かった。

(2) 高山植物の保護状況

ア、「高山植物の保護状況をどう思うか」聞いたところ「大変良い」22% 「良い, まあまあ良い」50% 「あまり良くない, 良くない」12% 「わからない等」16%で全体的に好印象を持たれていることがわかる。

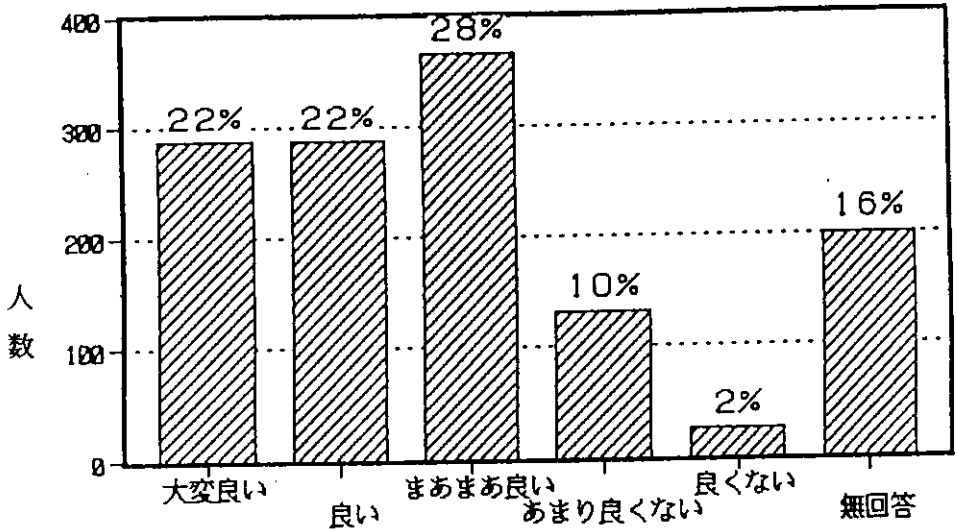


図-5 高山植物の保護状況をどう思うか

イ、「高山植物を保護するためにパトロール員がいることを知っているか」聞いたところ「以前から知っている」56% 「今回知った」19% 「知らない等」25%であった。

年代別に差があるのではないかと考え、「年代別」「パトロール員の知否」を表にしたところ、「知らない」と答えた人の73%が29才以下で占められ, 若年層の人達に知られていないことがわかる。(表-1)

ウ、「高山植物を無断で採取することは違法行為であり, 処罰されることを知っているか」聞いたところ, 「以前から知っている」70% 「今回知った」7% 「知らなかった, 無回答等」23%で, 「知らなかった」と答えた人の60%が29才以下で占められていた。(表-2)

表-1 パトロール員の知否

単位 (%)

知識 年代	以前から 知っている	今回の登山 で知る	知らない	備 考
-20才	10	45	*57	全体 731人 248人 150人 56% 19% 12%
20才代	20	21	*16	
30才代	19	13	7	
40才代	28	13	13	
50才代	18	6	6	
60才以上	5	2	1	

表-2 高山植物採取違法行為の知否

単位 (%)

知識 年代	以前から 知っている	今回の登山 で知る	知っていたが それほど思わなかった	知らない
-20才	16	73	*38	*63
20才代	20	13	*22	*15
30才代	19	4	12	1
40才代	25	5	23	9
50才代	16	4	5	7
60才以上	4	1	0	5
全体	908人 70%	96人 7%	77人 6%	46人 4%

エ、「白馬岳ではペット（犬等）連れた登山者をご遠慮いただいているが、ペットを連れた登山について」聞いたところ、「個人の自由」5%「管理をしっかりすれば良い」24%「他の人に迷惑になるのでやめるべきだ」25%「高山植物、動物に害があるのでやめるべきだ」29%「無回答等」17%で、ペット連行登山については、約半数以上の人が否定的であったが、「かまわない」とした人が約30割あり今後の課題である。

(図-6)

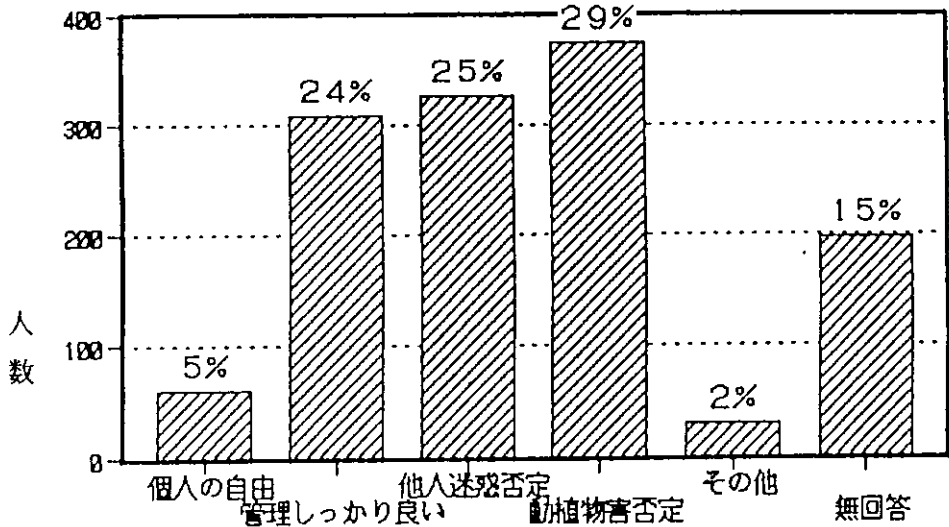


図-6 ペット連れ登山の是非

オ、「ゴミ処理について」聞いたところ、「自分のゴミは責任を持って持ち帰る」75%「山小屋等である程度受け入れる」17%「ゴミ捨て場を設ける」7%「国、公共団体等が責任を持つべきだ」5%「無回答」15%であったが、「持ち帰るべきだ」が75%と予想外に多く、ゴミが投げ捨てられている現状とのギャップを感じた。(図-7)

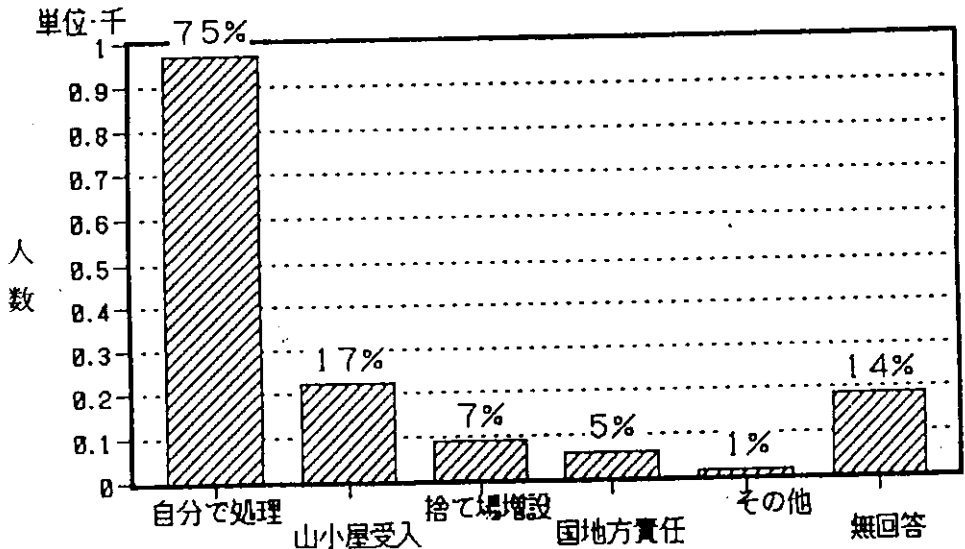


図-7 ゴミ処理について (複数回答)

(3) 高山植物の知識

ア、「高山植物を何種類位知っているか」聞いたところ「まったく知らない」21%「5種類位」27%「10種類位」21%「20種類以上」27%で、「登山歴」と「高山植物種類」との関係は(表-3)である。

表-3 高山植物を何種類位知っているか [登山歴*植物数]

単位%

登山歴 \ 植物数	まったく知らない	5種類位	10種類位	20種類位	30種類位	それ以上
1年未満	46	22	11	9	2	5
1-5年未満	36	41	37	33	24	18
5-10年未満	10	24	21	22	32	22
10-20年未満	5	8	19	25	19	23
20年以上	3	5	12	11	23	32

全体 271人 350人 267人 202人 58人 101人
 21% 27% 21% 15% 4% 8%

この表からして、登山歴が増すほど、高山植物を知っている数が増加することがわかる。

イ、白馬岳周辺に生育する代表的な高山植物28種類の内知っている植物を選んでもらった結果(表-4)である。。

表-4 知っている高山植物名

植物名	人数	%	植物名	人数	%	植物名	人数	%
ニッコウキスゲ	818	63	イワツメクサ	426	33	イワオウギ	288	22
コマクサ	803	62	チシマギキョウ	423	33	シロウマアサツキ	262	20
ミヤマキンバイ	757	58	キヌガサソウ	411	32	アオノツガザクラ	251	19
クルマユリ	731	56	ウサギギク	387	30	サンカヨウ	226	17
チングルマ	679	52	シロウマタンポポ	368	28	イブキジャコウソウ	224	17
ハクサンイチゲ	581	45	シラネアオイ	366	28	オオサクラソウ	204	16
ミヤマオダマキ	561	43	ミヤマダイコンソウ	358	28	ヒメクワガタ	163	13
コバイケイソウ	532	41	ミヤマクワガタ	334	26	シロウマオウギ	147	11
ウルップソウ	518	40	タカネシオガマ	325	25			
ハクサンフウロ	491	38	エンレイソウ	319	25			

1位のニッコウキスゲから5位のチングルマまでは、半数以上の方が知っており、本州白馬岳一帯と、八ヶ岳東北の一部にしか見られないといわれるウルップソウが40%と以外に高く、青紫色の特徴のある花であるので登山者の目を引いたものと考えられる。

おわりに

これらのことをまとめて見ると、白馬岳には29才までの方が40%以上占めており、登山経験の少ない、若年齢層ほど高山植物保護に対する関心が薄く、楽観的に見る傾向があると言える。

以上のことから、高山植物保護に対しては、若年齢層を主体とした呼びかけ、PRが必要ではないかと考える。

具体的には、登山者に対して、入山時に高山植物保護を訴えるパンフレット、ポケット吸い殻入れ等の配布や、登山者自身が高山植物保護の一員になる様な、ワッペン等の作成が必要である。

また、標識、看板類、登山道の整備など悪い印象を持たれたものに対しては、早急の整備が必要と考える。

高山植物の咲き乱れる山、ゴミのない山を維持していくには相当な努力が必要である。

今後も、関係団体の協力も得ながら、登山者が安全な登山ができるよう努力していきたい。